



第22回

JAPAN YOGA THERAPY SOCIETY
2024
日本ヨーガ療法学会

研究総会

緩和ケアとヨーガ療法

尊厳とともに繋がり、ともに癒す

Artist : Minako Hiromi

2024年5月25日(土)-26日(日)

場所：大阪府立国際会議場 (グランキューブ大阪) 10F・12F
大阪市北区中之島5丁目3-51 (<https://www.gco.co.jp/access/>)

お問い合わせ：yogatherapist.osaka@gmail.com

大会長：協立記念病院 緩和ケア科部長 森 一郎

主催：一般社団法人 日本ヨーガ療法学会



公式サイト



森 一郎 (もり いちろう)

協立記念病院 緩和ケア科部長 緩和ケア病棟長
I FOR YOU Japan 代表理事

1999年 熊本大学医学部卒業。大学院および関連病院にて腫瘍内科、救急、内科全般、在宅医療を研鑽した後、呼吸器専門病院にて呼吸器疾患、肺がん治療、緩和ケアチームに携わる。大阪大学大学院（緩和医療学）に進学後、ガラシア病院、市立川西病院の緩和ケア病棟を経て現在に至る。緩和ケア病棟にヨガ、ハーブ等の補完医療やボランティアを積極的に取り入れ、ディグニティーセラピーをはじめとする様々なケアを実践している。がん患者・家族・遺族のスピリチュアルケアが急性期病院では難しく、緩和ケア病棟では遅いことを痛感し、がんサポート団体 I FOR YOU Japan を設立して地域にがんサロンを広げている。緩和医療専門医、呼吸器内科専門医、総合内科専門医、産業医、医学博士。

◎基調講演



木村 慧心 (きむら けいしん)

世界ヨガ療法連合創設役員
世界保健機関 (WHO) ヨガ指導基準・策定部会・委員
アジア太平洋ヨガ療法協会 代表役員 日本ヨガ療法学会 理事長
SVYASA 大学大学院 / AMIYT 大学・
カイヴァルヤダーマヨガ研究所附属大学客員教授
(一般社団法人) 日本ヨガ療法学会 NPO 法人日本ヨガ療法士協会理事長

○著書

「ヨガ療法マネージメント」「インド五千年のサイコセラピー」ガイヤ出版

1967年 東京教育大学理学部卒業。1982年 ヨガ・ニケタン修道院 (インド・リシケシ) 開祖スワミ・ヨーゲシヴァラナンダ大師より聖名 (ギヤーナ・ヨーギ) を拝受して得度し、ラージャ・ヨーガ・アチャルヤ (阿闍梨) となり、その命を受けインド内外で伝統的ラージャ・ヨーガ指導を開始。2019年8月 ヨガの発展と普及に多大な貢献をしたインド国外2名の内の一人として、“第1回インド首相賞”受賞。現在、日本、インド、ヨーロッパ、南北米国内で伝統的ヨーガとヨーガ療法の普及活動に従事。鳥取県米子市在住。

◎招待講演



Harvey Max Chochinov (ハーヴェイ マックス チョチノフ)

マニトバ大学精神医学特別栄誉教授
CancerCare Manitoba Research Institute 上級研究員

緩和ケアの世界的第一人者であり、これまでに医療現場における「尊厳」の問題を対象にした大規模研究プログラムを主導。発表した300以上の論文は、うつ病、QOL、自殺、脆弱性、スピリチュアリティ、終末期の実存的苦悩など様々なトピックスにわたる。がん患者の尊厳についての研究より導かれたディグニティーセラピーは緩和ケア領域において全世界で実践されている。Canadian Virtual Hospice 共同設立者、The Handbook of Psychiatry in Palliative Medicine 編集者。最新刊は『Dignity in Care ~The Human Side of Medicine~』。カナダ医師会の最高評価である FNG スター賞をはじめ、数多くの栄誉と賞を受賞し、2020年にカナダ医学の殿堂入りを果たしている。マニトバ勲章受章者、カナダ勲章オフィサー。



木澤 義之 (きざわ よしゆき)

筑波大学医学医療系緩和医療学教授
日本緩和医療学会理事長

1991年 筑波大学医学専門学群卒業、総合診療医として研修後、緩和ケアを専門とする。緩和ケア病棟、在宅医療の経験を経て、2003年～筑波大学臨床医学系講師。2013年～神戸大学医学部先端緩和医療学特命教授、2022年より現職。疾患を問わない緩和ケアを実践し、その教育・人材育成に注力している。



小澤 竹俊 (おざわ たけし)

めぐみ在宅クリニック 院長
一般社団法人 エンドオブライフ・ケア協会 代表理事

1987年 東京慈恵会医科大学医学部卒業。山形大学大学院卒業後、救命救急、農村医療を経験し、1994年より横浜産生病院 内科・ホスピス勤務。2006年に、どんな病気で、どこに住んでいても安心して最期を迎える社会を目指すことに理念した、めぐみ在宅クリニックを開設。2000年より学校を中心に「いのちの授業」を展開し、2015年一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会を設立。主な著書に、「死を前にした人にあなたは何かができますか？」(医学書院)、「折れない心を育てるいのちの授業」(KADOKAWA)、「今日が人生最後の日だと思って生きなさい」(アスコム) など。



森 雅紀 (もり まさのり)

聖隷三方原病院 緩和支援治療科 部長
聖隷クリストファー大学 看護学研究科 臨床教授

2002年 京都大学医学部卒業、日本で内科研修後、米国で内科、ホスピス緩和ケア、血液・腫瘍内科の研修を修了。2011年～聖隷浜松病院、2016年～聖隷三方原病院で緩和ケアに従事。2021年11月～聖隷三方原病院緩和支援治療科部長。多職種チームによる緩和ケアを実践している。主な研究領域は症状緩和やコミュニケーション、アドバンス・ケア・プランニング (ACP) など。主な著書に「Advance Care Planning のエビデンス 何がどこまでわかっているのか」(医学書院、共著) など。



〈メインビジュアル〉 廣海 充南子 (Minako Hiromi) 大阪18期YTIC卒業 美術家・アートディレクター

1983年 大阪府生まれ。17歳の時にダライラマ法王の講演会を聴講し、現代曼荼羅を表現する画家を目指す。スマトラ津波により PTSD 発症。29歳で配偶者と死別、障害に拍車がかかり、ヨガ療法と出会う。ヨガ療法士資格取得後、日常と育児、制作においてヨガ哲学に助けられ、現在も曼荼羅画家、障害者アート専任アートディレクターとして活動している。1児の母。



Facebook



Instagram